

第2回ESDセミナー「鳥取赤十字病院フィールドスタディプログラム」

7月4日（金）に第2回ESDセミナーとして、1年生～3年生の生徒11名が鳥取赤十字病院を訪問しました。外科医、麻酔医、歯科口腔外科医、研修医、薬剤師、看護師と多様な職種・専門の方々が、病院の地域での役割・仕事の内容・ご自分の経験や仕事への思い等を話してくださいました。休憩時間には内視鏡外科結紮融合ドライボックス（手術練習用の器具：写真右）を使い、腹腔鏡手術のトレーニングを経験しました。

生徒たちは、鳥取の医療の現状と課題、医療従事者を志すことについて等、多くの疑問や質問を持ってこのセミナーに臨みました。先生方の話を聞いたり質問をしたりすることで、多くのことを知り学ぶことができました。「医療現場のみなさんの、学び続ける、という姿勢に感銘を受けた。」「自分も医療にかかわりたいという気持ちが強くなった」という感想がありました。また、国際医療協力として海外への派遣経験のある看護師、またそれを目指して勉強をしておられる看護師の話聞き、「今まで国際医療協力について考えたことがなかったが、すごく刺激になった。」という声もありました。

